

# 平成30年 第3回（6月）吉川市議会定例会

## 一般質問通告書

6月13日（水）			
質問者			
通告第1号	8番	降旗 聡	
通告第2号	4番	戸田 馨	
通告第3号	3番	稲葉 剛治	
通告第4号	14番	五十嵐惠千子	
通告第5号	5番	林 美希	
通告第6号	15番	互 金次郎	
通告第7号	19番	松崎 誠	

6月14日（木）			
質問者			
通告第8号	10番	加藤 克明	
通告第9号	17番	稲垣 茂行	
通告第10号	2番	雪田きよみ	
通告第11号	1番	遠藤 義法	
通告第12号	12番	小林 昭子	
通告第13号	13番	小野 潔	
通告第14号	11番	佐藤 清治	

6月15日（金）			
質問者			
通告第15号	7番	岩田 京子	
通告第16号	9番	吉川 敏幸	
通告第17号	6番	濱田 美弥	
通告第18号	18番	齋藤 詔治	
通告第19号	16番	伊藤 正勝	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第1号 8番 降旗 聡</p>	<p>治水対策（南中学校周辺地区）について</p>	<p>当会派では、昨年11月に平成30年度吉川市予算編成における要望書を提出しました。10項目・47点にわたる要望のなか、今回は防災対策のなかの、南中学校周辺地区について市の考えを伺います。要望書では、「栄町・保・中野各地区の浸水対策として、大場川、上第2大場川周辺に遊水池・調整池整備の検討を進めること」に対して、「南中学校周辺地区の浸水対策として、調整池などの整備手法を含め、研究してまいります」との回答がありました。そこで、「南中学校周辺地区の浸水対策についての研究の進捗状況と今後の方向性」と併せて、以下について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 須賀・榎戸地区浸水被害対策に向け、地域及び近隣自治体との協議を進めることとの要望に対する、研究の進捗状況について</li> <li>2) 小規模雨水タンク助成金制度の新設を検討することとの要望に対する研究の進捗状況について</li> <li>3) 上水道石綿管から耐震管への布設替え工事の加速化の要望に対する、「新水道ビジョン」策定の進捗状況について</li> </ol>	<p>市長 都市整備部長 水道課長</p>
	<p>市民に身近なさくら通りに</p>	<p>「さくら通り」の二郷半用水路沿いでは、500本を超える桜（ソメイヨシノ）を楽しむことができます。満開に咲いた桜は、吉川の絶景スポットの一つであり、多くの市民の目を楽しませるとともに、さくら通りを利用するドライバーにも吉川の魅力の一つとして認知されていることと思われまます。しかし、ここ数年、さくら通りのライトアップ（提灯）が控えられており、夜桜を楽しみながら散歩をしていた多くの市民から「今年も無いのだね…残念」との声が届けられます。一方、関公園と第2ポケットパークを舞台に桜に親しめる「さくらまつり」を開催と同時に、ライトアップもされています。予算や観光資源として関公園に集中させたいとの考えなどもあるのではと推測します。しかし、市民から二郷半用水沿いの（JAさいかつから）ライトアップ再開にむけた要望に応えることも大切であるとの思いで、以下について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 二郷半用水沿いの提灯廃止の経過と再開へ向けた課題について</li> <li>2) 桜による観光の資源化の方向性と進捗状況について</li> </ol>	<p>市長 産業振興部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第1号 8番 降旗 聡</p>	<p>生活道路の安全対策について</p>	<p>市内の道路整備・維持補修については、市民から多くの要望が寄せられています。そこで、現在寄せられている道路補修の要望件数（概算での延長距離と工事費用）と、今年度実施する件数（延長距離・事業費）と併せ、以下について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2-342号線（ライフ吉川駅前店北側）の補修について</li> <li>2) 2-335号線（南中学校北側～さくら通り）の水路蓋掛けによる歩道の段差解消について</li> <li>3) 2-444号線（南中学校西～斜めに入った道路）の補修について</li> </ol>	<p>市長 都市整備部長</p>
<p>通告第2号 4番 戸田 馨</p>	<p>おあしす改修について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①これまでの経緯について「市民からの意見聴取」「専門家との検討」「障害者就労」「他自治体施設への視察」等について改めてご説明願いたい。</li> <li>②2017年10月に提出した「未来会議よしかわ」からの「おあしす改修に対しての要望書」への対応について伺う。</li> <li>③「おあしす改修」の今後について伺う。</li> </ol>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>教育について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「志教育」について改めて理念をご説明願いたい。また、今後どのように取り組んでゆかについても伺う。</li> <li>②非認知能力向上のための取り組みについて、「旭小学校でのICT教育」、「三輪野江小学校での放課後子ども教室」に対する評価と、今後の展開について伺う。また、非認知能力向上のための新たなカリキュラムの検討の進捗状況について伺う。</li> <li>③他自治体の例（みやぎの志教育等）についての見解を伺う。</li> <li>④東中学校の大規模改修を含め、特にトイレの洋式化、エアコン設置における市内小中学校の施設整備について伺う。</li> </ol>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>芸術文化政策について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①吉川市での演劇事業の可能性としての「アプライド・ドラマ（応用演劇）」について見解を伺う。</li> <li>②「彩の国さいたま芸術劇場」の初のアウトリーチ事業となった、公演「めにみえない みみにしたい」は大盛況のうちに終わったが、このような事業の、今後の更なる展開について市の考えを伺う。</li> <li>③芸術文化を総合政策として展開するための、具体的な手法とスケジュールを伺う。</li> </ol>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第3号 3番 稲葉 剛治	「宇宙事業」について	平成30年4月2日に児童館ワンダーランド30周年記念事業の中で国際宇宙ステーションリアルタイム発信イベントを実施したが、この発信事業に対する総括を伺います。また、宇宙と連携した（宇宙桜等）、今後の事業展開や市の方向性、考えを伺います。	市長 担当部長
	産業振興について	1・この春、待望の産業振興部が新設されました。現在までの動きについて伺います。合わせて今後の具体的な取り組みについても伺います。 2・「都市間の産業交流」についての市の考え方を伺います。	市長 担当部長
	小中学校への色覚チョーク導入について	1・現在の学校現場での色弱者への配慮について伺います。 2・小中学校での色覚検査の実施状況について 3・色覚検査の受診率について 4・保護者に対しての色覚異常および色覚の検査に関する基本的事項についての周知方法について 5・色覚に配慮されたチョークの各学校の使用状況とその効果について伺います。	教育長 担当部長
通告第4号 14番 五十嵐恵千子	公立保育園における障がい児の保育と療育の在り方について	改正発達障害者支援法の成立以降、発達障がいを抱える子ども達のサポート体制のさらなる充実が推進されています。 ①施政方針に「こども発達センター」を保健センター2階へ移転し、児童発達事業など子ども達の療育の拠点として事業を進めるとあり、着々とその計画が進められていますが、その内容と事業開始までの流れをお伺いします。 ②当市では、行財政改革（アウトソーシング）に基づき、これまで保育園の民営化が進められてきました。私ども公明党は民営化に賛成の立場でありながらも現在の第二保育所は障がい児保育や療育をさらに充実させるために公立として残し運営すべきと、一貫して主張し続けて参りましたが、この件についてもご見解をお伺いします。 ③「こども発達センター」を保健センター2階へ移転した後、第二保育所はどのような運営になるのか、また、第二保育所は耐震化が必要と認識していますが、建て替えなどもお考えなのか、当市の発達が気になる児童数の推移及び各保育園でそうした児童を受け入れている割合や課題なども含め、当市の公立保育園における障がい児保育と療育の在り方について、今後どの様なお考えかお伺いします。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	子育て世代包括支援センター整備について	<p>少子高齢化の流れに歯止めをかけ、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現に向けて、平成32年度末までに地域の実情等を踏まえながら全国展開を目指すこととされている「子育て世代包括支援センター」を当市においてもいち早く実現をと、平成27年6月議会一般質問、平成28年12月議会一般質問などにて提案し、「早期、設置に向け検討を進める」とのご答弁をいただき、新年度の施政方針には、「保健センターへの子育て世代包括支援センター整備」も明記され、さらにより多くの親子へのきめ細かい支援や気軽に立ち寄り相談できる場所の充実等がされる事と期待しています。当市の「子育て世代包括支援センター」整備について、事業内容や事業開始までの流れ、市民への周知などについてお伺いします。</p>	市長 担当部長
<p>(続) 通告第4号 14番 五十嵐恵千子</p>	アプリでさらなる暮らし応援を	<p>当市では、現在、市のホームページやスマートフォン対応等により、民間も含め、子育てに関する様々な情報発信がされています。しかし、近年、多様化する保護者のニーズにお応えすべく、子どもの年齢に合わせて実施される健診や子どもの予防接種の予約日等、つい忘れがちな情報を保護者があらかじめ登録すると事前に通知が届き、妊娠から子育てまで一貫してサポートするなど、アプリで暮らしを応援する自治体が増えています。</p> <p>①近隣自治体でも「予防接種自動スケジューラ」が実施されていることから実施を要望する市民の声がありますが、近隣自治体における実施状況と当市も実施に向け研究されたかどうかお伺いします。</p> <p>②子育て支援の拡充だけでなく、マイナンバーカードの普及も目指して、都城市ではアプリを利用した電子母子手帳サービスを開始しています。また、加須市では市の応援アプリ「かぞっぷ」が今年3月から配信され好評を博しているとのこと。当市においてもマイナンバーカード普及の観点からも電子母子手帳サービスや暮らし全般に亘る応援アプリを検討すべきと考えますが、当市のマイナンバーカードの年代別交付数と提案へのご見解をお伺いします。</p>	市長 担当部長
	JR 武蔵野線最終電車の時刻延長を	<p>JR 武蔵野線最終電車の時刻延長を望む多くの市民要望をいただいています。実現に向け毎年 JR 東日本に対し要望をされているようですが、市民意識調査などからどの様な内容で要望がされているのでしょうか、JR 東日本からの直近の回答と併せてお伺いします。</p>	市長 政策室長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第5号 5番 林 美希	障がい者支援について	① 障がい者のご家族からいただいたご意見を踏まえて質問する。 ア、保護者が子どもの療育に専念するため、療育を受ける子どもの弟妹が一時預かりを利用する際、一時預かりの保育料の一部を吉川市が補助するよう要望するがいかかがか。 イ、市外の特別支援学校の通学バスの停留所として、現庁舎駐車場、旧庁舎敷地を使用していただけるよう各学校と調整していただきたいがいかかがか。 ウ、保育を必要とする障がい児の受け皿として、現在の公立保育所2か所を維持していただきたい。市の方向性を伺う。 ② こども発達センターの移転について ア、移転のスケジュールは。 イ、保護者説明会で出た意見と、それに対する市の回答は。 ウ、保健と福祉の連携がより強固となることを期待する。保護者の障がい受容につながる「相談事業」により力を入れる必要性があると考えるがいかかがか。	市長 担当部長
	吉川市における共生社会の実現について	① 男女共同参画事業において「多様な働き方」の実現を目的とした、平成30年度中に実施予定の事業の概要を伺う。 ② 市民生活部 市民参加推進課における「男女共同参画・文化交流担当」を「共生担当」と名称変更してはいかかがか。	市長 担当部長
	防犯について	① 吉川美南駅西口に交番の設置を願う市民の声に対して ア、吉川市の見解は。 イ、県警・県公安委員会へ吉川市のはたらきかけは。 ウ、上記はたらきかけに対しての回答は。 ② 保第二公園防犯ステーションについて ア、設置の経緯は。 イ、設置にあたって市が補助した内容は。 ウ、美南地区に設置することは可能かどうか。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第6号 15番 互 金次郎	地域福祉の推進について (ひきこもり対策)	内閣府が2015年に行った「ひきこもり調査」によりますと、15歳から39歳までのひきこもりの若者は、約54万人と推計されました。また、ひきこもり期間は「7年以上」の人が約35%と、その長期化が浮き彫りになりました。第3次吉川市地域福祉計画には、市長のあいさつ文に「私たちの身近なところで、貧困問題や高齢者や障がいのある方などへの虐待、家庭内暴力、ひきこもり、孤独死などの社会問題が深刻化しています。」とありました。当市のひきこもり対策の現状と課題、及び第3次地域福祉計画（平成29年度から平成33年度）における今後の基本的な考え方と取り組みをお伺いします。	市長 担当部長
	人生の終末期に支援の取り組みを	ひとは人生の終末期に、尊厳と安心の中でその幕を閉じることを願うものです。高齢化社会が進む中、市民の「終活」を支援する自治体が増えてきています。エンディングノートの配布や終活講座等の開催、死後事務支援の改善など様々な取り組みが展開されています。 ①当市の終活支援の基本的な考え方と、終活支援の現状と課題をお伺いします。 ②当市においても、エンディングノートの作成・配布、死後事務支援の改善等、終活支援事業に取り組んではとありますが、ご見解は。	担当部長
通告第7号 19番 松崎 誠	安全安心について	第5次吉川市総合振興計画（平成24～33年度）にあります首都圏氾濫区域堤防強化対策事業について江戸川の堤防は、過去に幾度となく嵩上げや拡幅を行っており、堤防の土質が一樣ではなく、堤防の安全性にもバラツキが生じているため、これまでに浸透による漏水等の被害が発生しています。そのため、浸透に対する堤防の安全性を向上させることを目的として、平成16年度より堤防断面拡大工法による堤防強化を実施しており、現在は、用地買収と築堤工事を進めており、市内の一部区間では、築堤工事が完了しています。また、洪水などによる被害を最小限にするため、災害時の緊急復旧に必要な資材の備蓄、作業スペース、ヘリポート、水防センター等を配備し、迅速かつ円滑な復旧活動を行うための拠点（河川防災ステーション）を整備しています。現在は、用地買収と水路の付け替え工事等を進めています。とあります。そこでお伺いをします。 1. 江戸川堤防強化対策の進捗状況について 2. 防災ステーション整備について 3. 橋付近の交通渋滞解消への取り組みについて	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第8号 10番 加藤 克明	東埼玉テクノポリス拡張の進捗について	平成29年6月定例会の中で、東埼玉テクノポリスの拡張を従来の「市施行」から、「県企業局に働きかけていく」と答弁を頂き、大きな転換をされました。あれから1年、産業振興部が発足して3ヵ月、県企業局とどの様な話し合いがされてきたのか、進捗をお伺いします。	市長 担当部長
	吉川市の農業政策について	この程、「船渡内地区」に埼玉型ほ場整備の機運が高まっていると聞いております。農業従事者の減少、高齢化、担い手不足が深刻な中、今後の吉川市の農業政策をどのように展開していくのかをお伺いします。	市長 担当部長
通告第9号 17番 稲垣 茂行	「おあしす改修」について	先の3月議会において、市民の会・無所属、自民党、共産党の賛成多数により「市民交流センターおあしす改修事業費」87,038千円が減額修正されました。この趣旨は、新庁舎とおあしすの「一体整備」を効果的に進めることを目的としています。市民参画の観点から、市民・関係者・有識者等を交え原点に立ち返って討議し、改修の是非・内容等、改修のあり方を検討することです。市民、関係者の理解と納得の上に進める事業だと考えてのことです。吉川市議会としての「意思」を示したものです。しかしながら、その後の市の対応は全く進んでおらず、考え方も示されておられません。こうした中、おあしす1階の「はーとふるぽっと」が4月末に閉店をしました。市民からは、『予算が減額修正されたのになぜ』、『改修についての方向性が見えないのになぜ』という疑問の声が寄せられています。新庁舎での業務がスタートし、おあしす全体の利用も拡大する中、喫茶・軽食が利用出来ない状況となり、来庁者及びおあしす利用者は、突然の閉鎖に困惑しています。「はーとふるぽっと」撤退のみが先行実施されたことに違和感を覚えるとともに、問題がある対応、判断であったと思います。5月16日(水)、中原市長に対し「おあしす改修に関する申し入れ」を市民の会・無所属、自民党、共産党として行いました。しかし、これに対する市としての考え方が示されておられません。そこで、以下について市としての考え方を伺います。	市長 教育長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第9号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>(続) 「おあしす改修」について</p>	<p>1 市長は、「市民交流センターおあしす改修事業費」87,038千円の減額修正可決をどのように受け止めたのか。</p> <p>2 予算の修正後すでに3か月近く経過しているが、市はこの間「おあしす改修問題」について何を行ってきたのか。</p> <p>3 「(仮) おあしす改修検討委員会」等の設置については、どのように考え、どのように進めて行くのか。</p> <p>4 「はーとふるぽっと」の撤退について ①「はーとふるぽっと」閉店に至る間の、市と葎の里との話合いの内容とその経過。 ②教育委員会及び子ども福祉部内での検討内容。相互の協議、連携はどのように進められたのか。</p> <p>5 新庁舎3階での弁当・コーヒー等の販売について。 ①弁当・コーヒーの販売が未だ実現されていないが、なぜこのようなことになっているのか。 ②弁当・コーヒー等販売についての設備対応と営業許可について。 ③今後の見通し。</p> <p>6 「はーとふるぽっと」跡はどのように活用するのか。計画と予定について。</p> <p>7 平成30年3月、『第4次吉川市障がい者計画』が策定されました。障がい者が地域で自分らしく暮らすことが出来る共生のまちづくりを推進する事が課題ですが、『共生』と『就労支援』について、市長の考え方を改めて伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第10号 2番 雪田きよみ</p>	<p>「志教育」を今後どのように進めようと考えていますか。</p>	<p>昨年発表された吉川市教育大綱は「家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく」です。この大綱に基づいて、昨年は3名の職員が『NPO 法人志共育プロジェクト』の研修に参加し、今後の吉川市での志教育の進め方について検討するとのことでした。</p> <p>4月に行われた各小中学校の入学式では、多くの学校で校長先生や教育委員会の式辞、市長メッセージで「志を立てる」ということが強調されたと感じています。また、その後発行されている学校だよりでも、「志を立てる」ということが強く押し出された内容になっていると感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度、3名の職員が参加した『志共育プロジェクト』での研修内容と、その評価。今後吉川市で具体的にどのように志教育を進めていく計画かを教えてください。</li> <li>● 市は昨年8月に『志共育プロジェクト』の北見俊則氏と外菌明博氏をお招きして、</li> </ul>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 「志教育」を今後どのように進めようと考えていますか。	<p>校長先生、教頭先生、PTA会長、職員を対象とした研修会を開催しました。その内容について教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度はどのような研修を計画しているのか。またその予算はいくらかを教えてください。</li> </ul>	
(続) 通告第10号 2番 雪田きよみ	性暴力のない社会の実現と、被害者支援の充実を目指して。	<p>性暴力は「魂の殺人」とも言われています。しかし実際に被害者と関わってみると、非常に強い自殺願望・自殺未遂などとも繋がっており、生命そのものを脅かす可能性の高いものであると実感しています。性暴力犯罪被害は、声をあげることさえできない幼少期から始まるケースも少なくなく、被害者は人生の大半をその苦しみと共に生きることを余儀なくされるケースもまた、決して少なくはありません。性暴力のない社会をつくる、大人としての責任を痛感しています。また万が一被害に遭ってしまった場合、適切・的確な支援を受けることができ、被害者の心身の負担軽減や早期回復、被害の潜在化の防止等を図ることができるよう体制を整備することも重要と考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力犯罪を防止するためには、幼少期からの性・自己の尊厳・人権等についての重層的な教育が重要だと言われています。幼児教育及び学校教育では、どのような対応がされているでしょうか。</li> <li>● 埼玉県犯罪被害者援助センター、アイリスホットラインとの連携状況について、教えてください。</li> <li>● 被害者の回復過程においては、身体的・精神的・法的・経済的・社会的等あらゆる側面からの支援が欠かせません。埼玉県の援助センターの支援だけでは支えきれない課題も多く、市町村に「犯罪被害者等支援条例」の設置が求められています。市はどのように考えていますか。</li> </ul>	市長 教育長 担当部長
	「自分を大切にする」教育の充実を。	<p>今年度、吉川市では「自殺対策計画」の策定が予定されています。「平成29年度自殺対策白書」によると日本の自殺率は17.3%で、世界第6位。米国の1.5倍、英国や伊国の3倍です。15歳～19歳、20～30代の死因の第一位。40代の死因の第2位。50代前半でも死因の第3位を占めており、現代日本社会において、自殺は「国民的リスク」といわれています。日本人の自殺が多い背景には、日本の子ども達の「自己肯定感」の低さが指摘されています。「自分を大切に思う」教育、また命の危険に直面したときに生きるためのスキルなど、学校教育の間に子供たちにしっかりと伝えておくことが大切だと考えられています。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第10号 2番 雪田きよみ	(続) 「自分を大切にす る」教育の充 実を。	また自殺対策は一般的に、3つの段階に分けて考えられています。一次予防は、精神的健康の増進や自殺の予防教育。二次予防は、前自殺状態の早期発見・早期対処・危機介入。三次予防は自殺企図経験者の再企図の防止と連鎖自殺の防止です。三次予防は特に病院や警察・消防との連携も重要であり、個人情報保護との関係を考えて対策の難しい課題だと感じます。市はどのように考え、「自殺対策計画」に反映させる考えでしょうか。	
通告第11号 1番 遠藤 義法	新庁舎建設など3大事業の課題に照らして到達・成果は	<p>市長は、戸張前市政の大きな課題として主に5つを取りあげていました。①吉川美南駅東口の開発、②新庁舎の再考、③新中学校建設、④フロリデーショ ン問題、⑤ワクチン接種問題であります。そしてこの課題に市民参加とスピード感を持って取り組むと強調しておりました。2018年度施政方針でも、「当市の長年の課題となっておりました『新庁舎建設』『吉川美南駅東口周辺整備』『中学校建設』の3大事業において」、ほぼ目的が達成できたと述べております。そこで各事業がどうだったのか、またどのように今後推移するのか具体的に伺います。</p> <p>1. 新庁舎は、5月連休明けに開庁することができました。備品購入含めてすべての予算が執行されたかと思いますが、建築、電気、機械設備など建設費総額、付属棟、外構工事、太陽光発電、植栽工事、備品購入費、引っ越し費用などそれぞれの金額はいくらで、新庁舎に関わる費用総額について伺います。あわせて、床延べ面積の縮小、免震構造の中止など見直しを行いました。実施設計の建設費と比較して削減額はいくらか。</p> <p>2. 中学校建設について、「未来を担う子どもたちへの教育環境の整備こそ最優先すべきです。」と県議時代の「今、目の前にある課題」とのチラシに記載しておりました。その後、市議会での質問に対して「教育環境の整備は別に建設だけのことを言っているわけではない」と答弁しております。しかし、課題のタイトルに「新中学校建設 早期建設を！」となっており、誰が読んでも中学校建設の時期を早めるとしか読めません。当初の建設計画を早めることはできませんでしたが、どのような見解を持っておりますか。教育環境整備に普通教室へのエアコン設置も含んでいたと考えていいのか伺います。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続)	(続) 新庁舎建設など3大事業の課題に照らして到達・成果は	3. 吉川美南駅東口周辺整備についてであります。整備のための工事が始まりました。市長は当初、市が主体となり、約174億円(市・約44億円)もの事業で、住宅だけでビジョンがない開発!とっておりました。事業計画含め様々見直しを行いました。27年9月の見直しで総事業費は179億円、市負担は3億円増えて49億円に。それがさらに28年の計画変更によって、事業費総額の179億円は同じですが、市負担額はさらに4億円も増えて53億円になりました。市の負担が44億円も、「このままでは未来に残るのが借金ばかり、となりかねません」と言っていたのが、さらに9億円増えて53億円になっていますが、責任は誰にあるのか、市長の見解を伺います。今後の事業変更によってさらに市負担が増えるようなことがあってはならないと考えますが、今後の見通しは。	
通告第11号 1番 遠藤 義法	教育再生首長会議の目的と加入理由は	「教育再生首長会議」が2014年6月に結成されました。市長は、この会議に今年も出席し、安倍首相、林文科大臣と並んでいる姿が市のホームページに掲載されています。 1. この「会議」への加入時期と、規約と目的の何に賛同して加入に至ったのか。事務局はどこに置かれていますか。 2. 負担金に公費を使っていますが、その根拠と成果は。 3. 「教育再生首長会議」は、教育委員会や教育現場、教育に介入している懸念があると心配する声もありますが、市長の認識は。 4. ILO・ユネスコの「教員の地位に関する勧告」の内容と「提言」が真逆のものとなっているとの認識は教育長にありませんか。 5. 文科省が、地方自治体に「教育大綱」策定を位置付けた背景と運用について改めて伺います。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	吉川市平和事業の充実へ	原爆が投下され終戦から73年。昨年9月議会で「子どもたちが家族等身近な人から戦争体験を聴き、感想文などで、伝えておきたい言葉が子どもたちの手によってつくられるのではないか。」との質問に「聞き取り感想文」について研究していきたい」と答弁いただきましたが今年度の平和事業に反映できる企画はないでしょうか。又、いくつか提案をさせていただきます。①学校での出前「語り部事業」で体験者のお話を聞く機会を作って戴きたい。②中学生平和大使派遣事業を③折鶴平和事業への参加を。	市長 担当部長
	市民交流センターおあしす改修事業とは一とふるぽつとおあしす店の閉店	市民交流センターおあしすに関する申入れを市民の会・無所属、自民党の会派と共に提出させていただきました。質問するに当たり改めて質問書に対する見解を。・3月議会で「市民交流おあしす改修事業費」は減額されました。今後の改修が具体化されるまで、は一とふるぽつとおあしす店は急いで閉店する必要はなかったと考えるが見解を。	市長 担当部長
通告第12号 12番 小林 昭子	障がい者施策について	①障がい者就労支援一市は検討会を立ち上げたが進捗状況について。就労支援の対象者は。障がい別に。目標と課題、今後の取り組みについて。庁舎内実習について。実績と今後の目標と課題。②住宅保障は自立の要であり身体障害の寄宿舍や不足しているグループホーム建設を。③通勤の移動支援確保。	市長 担当部長
	しんきぼり水質改善と三郷市境堰の開門解決を	三輪野江地内を流れる用排水路しんきぼりは水質が原因で、下流の三郷市境の堰が長期間封鎖されている。その為降水量が増えると、排水路としての機能が働かず、周辺が逸水を繰り返しており、改善を求めてきた。昨年6月議会で質問しましたが、①それ以降の経過と現状。②三郷市境の堰開門は。	市長 担当部長
	第3回減災プロジェクト・三輪野江小学校区のとりのくみ	東日本大震災や熊本地震を身近に経験し、市民の減災・防災への関心は今までに高く高くなっています。①地域性を踏まえどのような全体プログラムを想定しているのか。②個々の条件、高齢者、障がい者、福祉施設、「災害対策と多様な視点」への対応など、どこまで視野に入れた訓練となるのか。③準備に向けての取り組み。 ・この機会に、地域として日頃感じている疑問、不安なども出しあえるコーナーをもち広報出来る工夫を。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第13号 13番 小野 潔	美南小学校区の交通安全対策について	<p>美南小学校が開校して6年目を迎えることとなりました、本年入学した1年生は227名、これで1年生から6年生まで全学年が揃い、全校児童数は1063名とマンモス小学校となりました。まだまだ美南小学校区は人口増加が見込まれ、児童数も増加する地域でもあります。警視庁交通局では本年3月22日「児童・生徒の交通事故について」を発表されております。その中で「小学1年生の歩行中の死傷者は6年生の3倍以上」と注目すべき点があります。マスコミでも多く報道され取り上げられました。このような状況の地域である美南小学校区、交通事故から小学生はもとより高齢者や市民の方を守らなくてはなりません。対策についてお尋ねいたします。</p> <p>①中曽根小学校区で実施している「ゾーン30」を美南小学校区への導入についてのお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>②美南小学校入り口の歩車分離信号は、歩行者が渡る時間が短いとの市民の声があります、対応については。</p> <p>③美南駅入り口の交差点の歩者分離信号をスクランブル交差点化についての考えは。</p> <p>④市道2-123号線と市道2-747号線、美南中央公園多目的広場東入口の交差点に横断歩道の設置とともに信号機の設置について、その後の進捗状況について。</p>	市長 担当部長
	スポーツ振興基本条例（仮称）の制定及びオリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組について	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、本年はサッカーワールドカップ、2019年のラグビーワールドカップ日本開催と、この3年間のスポーツに対する国民の機運は日増しに高まっていくと思います。当市においても先の3月議会では、スポーツフェスティバルを開催してはとの提案がありました。第5次総合振興計画後期基本計画では、スポーツによる健康・体力づくりとして「市民が心身の健全な発達と健康保持ができるよう、だれもがいつでもどこでもスポーツに親しむことが出来る環境づくりをめざします」と掲げています。また目標として「20歳以上で、週1回以上運動やスポーツを行っている割合を58,7%」と高い目標を定めています。この様な機運の中、しっかりと当市のスポーツ振興の位置づけを条例化してはと考えますがいかがですか。「オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組」について東京都や千葉県では強力的に推進しているようであります。当市においてもこの機会を貴重なチャンスの時と捉えてオリンピック・パラリンピックを教育へ活用してはと考えます。当市では「オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組」の現状についてまた、今後の取組についてのお考えをお示し下さい。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第14号	小中学校教室へのエアコン設置を早急に	<p>平成29年9月6日、全会派が一致し市長に対し早期設置の要望書を提出しました。その内容は</p> <p>①教育環境の違いをなくすため、未設置の小中学校に早期かつ同時期にエアコンを設置すること。</p> <p>②全小中学校のエアコン設置は大規模改修時ではなく上記1に基づきできるだけ早い時期に計画を示すこと。</p> <p>というものでしたが当面の計画としては大規模改修に併せてというものでした。この内容ではいつ設置されることになるのか全く不明であり早く具体的な計画を示すべきと考えるが見解を伺います。隣の三郷市では2年、草加、越谷では1年で設置がされており大規模改修にこだわらず設置を急ぐべきだと考えるがどのように対応するのか伺います</p>	市長 教育長
17番 佐藤 清治	公園整備の具体化は	<p>公園再生プロジェクトで整備を進めていくとしているが具体的な内容については示されておりません。関公園は現在どのような内容で事業が進んでいるのか。また他の公園について小規模な改修を検討しているが具体的にはどういう計画なのか伺います。公園の雑草が繁茂するのを何とかして欲しいとの声が寄せられているが回数を増やすなどの対策はどのように考えているのか。道庭緑地帯、けやき通りけやき通り東側の雑草は大変ひどい状況になっているが毎年繰り返される雑草の刈り取り対策だけではなく、整備についてどのように考えているのか。</p>	市長 担当部長
	県道バイパスに交差点と信号の整備を	<p>駅南の県道バイパスは現在交差点が2箇所しかなく、セブンイレブンの所は交差点として整備して欲しいとの声が寄せられている。また歩行者から横断しやすいよう歩行者用信号を増やして欲しいとの声が寄せられているが対策は</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第15号 7番 岩田 京子	吉川市の環境政策について	<p>4月17日、第5次環境基本計画が閣議決定されました。地球温暖化対策においては、1997年の京都議定書から、2015年のパリ協定と目標値が変わり、また、生物多様性に関する愛知目標も2010年にでき、さらに最近では環境だけにとどまらないSDGsといった17の目標が世界の目標として掲げられるようになりました。第5次環境基本計画はそれらを踏まえた形で新たなる計画がスタートしました。そのように刻々とめざすべき社会の目標が変化していく中で、吉川市も環境政策において、しっかりとしたビジョンと柔軟な対応が迫られています。</p> <p>①吉川市の環境行政の基本である環境保全指針は2000年につくられ、今日まで見直されなかったですが、見直される予定はありますか。</p> <p>②特にごみ減量、生物多様性、温暖化対策の大きく3点について、吉川市の目標となるものがありましたら教えてください。</p> <p>③今年度の契約した電気事業者について</p> <p>④小規模雨水タンクについて研究はどこまで進んだか</p> <p>⑤パートナー収集について</p> <p>⑥ごみアプリの導入について研究はどこまで進んだのか</p>	市長 各担当部長
	開庁式における風船飛ばしについて	<p>新庁舎がオープンし、吉川市も新たなスタートを切りました。たくさんの市民や、栄小学校の代表の子どもたちの参加による開所式、そして記念すべきウェディングもあり、市民の期待と共に、心温まる吉川市のスタートとなりました。開所式、結婚式での風船飛ばしは大変華やかで、彩をあたえる企画ではありますが、環境の視点から自粛傾向にあります。アメリカ、イギリス、オーストラリアなどの多くの自治体では風船を飛ばすことを法律で禁止したり規制するようになっています。</p> <p>①現在、この行為に関しての所感を</p> <p>②風船飛ばしに対する検討はどのようにされたのか また、検討されたとしたら、どのような理由で実施するに至ったのか</p> <p>③市の環境行政をつかさどる部署として環境課、市民生活部は知っていたのか。知っていたとしたら、どのような対応したのか。</p> <p>④飛ばした風船の材質について（風船は天然ラテックスなのか合成ラテックスなのか、添加剤の把握は、風船を止めるクリップ、紐の素材など）</p>	市長 教育長 各担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第15号 7番 岩田 京子	(続) 開庁式における風船飛ばしについて	⑤今回購入した数と飛ばした数 ⑥今回、風船飛ばしにかかった費用を教えてください (風船、ヘリウムガス、備品など項目ごとに)	
	卒業式の祝辞について	卒業式での市長の言葉の中で「夢は個人の欲望のためだからダメで、人のためになる志を持たなくてはいけない」という趣旨のお話をされていたが、同じ場で他の方から「夢を持とう」というお話もでていた。「夢」や「志」の意味は、辞書にあるとおりであり、前述の言葉は吉川市独自のオリジナルの解釈である。これを公の場で貫いていくことは、現場での混乱を招きかねないとの声があるが市長の考えをお聞かせください。	市長
通告第16号 9番 吉川 敏幸	防災対策について	世界各地で起きている地震の約10%、マグニチュード6クラスの地震の約20%が起きていると言われている日本。また、首都直下型地震等も30年以内に約70%の確率で発生するとされている。市のHPからハザードマップへアクセスが可能であるが、アクセス時にGPSと連動し、現在地や最寄りの避難施設やそこまでの距離等の確認ができ、市民の皆様が安全で確実な避難行動がとれるよう吉川市の地震編、水害編のハザードマップをWeb化し、いつでもどこでも手軽にスマートホンやタブレット端末にてハザードマップにアクセス出来ることを可能にすることすることが必須と思われる。市の見解を伺う。	市長 担当部長
	交通安全・防犯対策について	動く防犯カメラとして、危険運転の抑止、犯罪抑止環境の強化、職員の運転技術の向上と交通事故責任の明確化。それに伴う保険料の値上がりの抑止。そして、ヒヤリハットデータの集積による危険箇所の認知と対応策の強化等、安心安全なまちづくりのために、公用車全車にドライブレコーダーを設置すべきと考えるが、市の見解を伺う。	市長 担当部長
	子どもの笑顔と活気でまちを満たすについて	中央緑地内にあるハンドボールコートが昨年未撤去され、約半年経った現在においてもそのままの状態である。きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言をし、且つ、市の将来を担う子どもの笑顔と活気でまちを満たすことと、全ての市民の幸福実感の追求を基本目標に掲げている中、この状況をどうお考えか見解を伺う。	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第17号 6番 濱田 美弥</p>	<p>困難から特色、特色から魅力へ 市内小中学校の学習環境整備 について ①超過密校への対応を具体的に</p>	<p>美南小学校は30年度入学の1年生を加えると1000人を超え、7クラスの1年生も各クラス32～33名、あと数名で定員の35名を超え8クラスとなるところだった。ついに運動会では昼食を子どもたちと一緒に食べられなくなり、残念との声も届いている。立ち見のためシートも敷けず、せっかく来てくださった祖父母は途中で疲れて帰ってしまったり、見に来ることを断念したり、とも聞いている。美南小学校にはすでに周囲には手ごろな空き地も無く、そのうえ34年には1400名との予測も、前回の議会では1500名と100名増の見解も出た。人数の限界は何人か。市が責任を取る、という事は、その職責の方が辞任する等ではなく、いかに今の状況で子どもたちの学習環境を良くしていくか、ということである。今まで質問を重ねてきたものを並べてみるが、・新しい小学校を建設するか ・学区を変更するか ・スクールバスで移動するか等、例をいくつか挙げて来たが、もう超過密校への対応を具体的に考えていかなければまた後手に回る時期に来ている。市が手にしている、または予測出来る限りの情報を丁寧に住民に示し、どうしていくのかを考え話し合う時間と手立てを住民に与えて頂きたい。具体的にいつどのような話し合いをするのかスケジュールをお示し頂きたい。</p>	<p>市長 教育長 各担当部長</p>
	<p>②新中学の制服について</p>	<p>柏市に4月から新設の柏の葉中学校では性別・状況に関係なく選べるユニバーサルデザインを取り入れた制服を採用したそうである。話し合いは昨年6月から意向調査などをもとに行われた。初めは開校してから入学した生徒たちで制服を決めていく意向であったが、意向調査により10月からPTA・生徒を含めた検討委員会を立ち上げ3回の会議の他、複数のメーカーからのプレゼンなども行いこの4月からの制服に決まったそうである。新中学校ではどのような制服になるのか、ユニバーサルデザインの視点も入れながら関係する子どもたちや保護者たちで楽しく検討して頂きたいと思うが、市の考え、スケジュールなどをお示し下さい。</p>	<p>市長 教育長 各担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第17号 6番 濱田 美弥	③エアコン設置を『暑さ指数(WBGT)』からも考えて	環境省からの熱中症予防についてサイトが立ち上げられている。実際の授業中の教室内の温度と指標で示されている嚴重警戒以上の温度について、「不快」を越えて「生命の危険」を感じる中で、学力の向上、授業に集中して取り組む環境づくりは出来ているだろうか、昨年度計測された教室内の実際の温度・湿度の数値を示して頂きながらご見解を頂きたい。大規模改修時では美南小学校は20年後、となってしまうのだろうか。学習環境を公平に整えるために一斉導入を検討して頂きたい。	市長 教育長 各担当部長
	市内循環バスについて	先日、市民の方から「足を痛めて、バスで市役所に向かおうとしたが、吉川駅で乗り継ぎ、等の方法しかなく時間的にも料金的にも不便だった」とのお声を頂いた。吉川美南駅東口から市役所、総合体育館へ直通のバスを。併せて、総合体育館や市内の主要箇所を巡回するバスを。朝夕は保育所への移動、スクールバス、日中は買い物や病院への移動、等にも活用できるのでは。 ・総合体育館へ→市民プールを活用して、歩くエクササイズを高齢者へ 水中ウォーキングは膝や腰への負担軽減・全身運動となる。 ・ワンダーランドの体育館→孫と一緒にエクササイズ(なまらん体操)はどうか。 ・市役所・おあしすへ→美南地区からの市の行事への参加が少ない、吉川のことを知らないとのことご意見。市民祭りなどの行事に参加しやすいよう、来やすいようにバス送迎や駐車場の確保などをお願いしたい。	市長 教育長 各担当部長
	吉川美南調節池と水路について	夏前に悪臭のする泥の撤去を。同時に泥の放射能測定の実施を。 参考→「溜め池底の泥の放射能汚染をスマホから操作して測定できる装置」	市長 教育長 各担当部長
	街路樹の剪定、下草の処理	暑くなる前に毎年計画的に出来ないか。シルバー人材の方々が行ってくださっているが、暑い日中に行っているのを見ると心配でもある。また、もし、計画があるのであればホームページ上でいつごろ実施予定かを市民も確認できるようにしてはいかかか。	市長 教育長 各担当部長
	吉川市の花の見どころスポット	桜のピンク・菜の花の黄色・コスモスの濃いピンクがホームページで紹介されている。この他に市の花のサツキ ツツジのピンク、名産の菖蒲の白・紫東中学校には地域の方々と生徒とで手入れしているアジサイの薄紫。檜の濃い緑・オレンジ、いちょうの黄色など、うまくまとめると七色の花が季節ごとに楽しめる、市内ウォーキングの観光スポットにもなるのでは。花いっぱい運動の展開を。おあしす2階庭園・中曽根と美南の間の緑道沿いなどを区画で割って市民がそれぞれの手入れをし、来年の5月くらいにコンテストなどは	市長 教育長 各担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第17号 6番 濱田 美弥	(続) 吉川市の花の見どころスポット	いかがか。審査員は市内の花屋さんやお花好きな市民で行う。そのまま維持管理して頂くと市内のあちこちで花が楽しめるようになるのでは。	
通告第18号 18番 齋藤 詔治	吉川交番の交差点、元スタンド跡地の通学路整備	平成29年12月議会、越谷吉川線4車線開通に伴い、建設生活常任委員会の質疑の中、交差点西側の元スタンド跡地道路部の空白地を小学生の通学安全対策として整備をお願いしました。埼玉県と調整し、有効活用の検討との事でした、進捗状況は。子供たちの朝の登校状況を見ますと大変困っています。一日も早い交差点の歩道改修が必要です。	市長
	生涯学習施設の充足状況と現状施設の改修整備充実並びに今後に向けての新たな施設整備について	生涯学習による人づくり・まちづくり、施策の目的として市民が生涯のあらゆる時期において、学習する機会が得られることを目指し、現状と課題として生涯活動ができるよう生涯学習体制の充実を図るとあります。今日多くの利用者から施設利用への申込みが困難とお話を頂いております。すべての人々が満足が得られる状態を構築することは至難ですが、解消に向けての総合的な取組についてお伺いいたします。	市長
	本年3月議会に於いて（条例の名称がながい）吉川市における幸福実現向上を目指したまちづくりのための産業振興基本条例が成立し、産業振興部が設置され、新たに部長・副部長が誕生し、業務がスタート取組をおたずねします。	1、【吉川市における幸福実現向上を目指したまちづくりのための産業振興基本条例】がスタートしました。今日の状況として、吉川美南駅東口周辺開発の区画整理が推進されていますが、まだ先が遠い状況です。その中で3月に予定していた仮換地スケジュール予定が12月に変更になりました。どんな理由があろうともスタート早々安易に計画変更は、今後の為とはいえども9か月の遅れは如何か。吉川美南駅周辺地域整備課は勿論、産業振興部の対応もお聞かせください。 2、この様な現状下に於いて早急なる財源確保へのまちづくりに向けどの様なお考えか、一日も早い財政的に豊かな吉川市構築へ向けのお考えをお聞かせください。	市長
現状での旧庁舎解体工事が推し進めることは多くの問題を解決し後に契約を実施すべき	1、先ず、3月議会予算可決後、工事の為の地域周辺の影響等考慮し説明をしたのか、本来説明をし、ご理解納得を得たうえで進めるべきです。周辺地域自治会並びに周辺住民への説明をせず、請負契約を行い議会の議決を得てから説明をする事は大きな問題です。 2、建物が非耐震で危険と言う事で、現在利用していない建物を一日も早く、解体工事をしなければならない理由は何なのか。解体ありきのように急いで進めているが何故なのか、他に明確な利活用の考えがあるのか。今後跡地利用についてどの様な考えがあるのか。 3、解体場所は、一級河川の中川に隣接しており、現在の杭は50年管経過し定着してい	市長	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第18号 18番 齋藤 詔治</p>	<p>(続) 現状での旧庁舎解体工事が推し進めることは多くの問題を解決し後に契約を実施すべき</p>	<p>ます。この地域は関東ローム層であり、現在の新庁舎も50m有余で岩盤に到達する為、50m有余のコンクリート杭が撃ち込まれています。このような地盤状況です、解体工事に入ってトラブルが無いよう解体工事を実施する前に杭抜きにより発生する、地下の穴、この空洞への埋戻し工事手法を検討されているのか、検討してなければ建物周辺数カ所の地質調査を実施すべきです。</p> <p>4、この解体事業のが依存PCパイロΦ500m杭抜きによって生じる穴の埋戻しによる地盤沈下・地滑りの発生はすぐ発生せず、数年先か十数年に渡って生じると考えられています。これらの対応についてどのような契約になっているのか。このようなトラブルにどの様に対応するのか、また工事契約者への責任と補償はどのような様になっているのか。</p> <p>5、今後、地盤沈下や地滑りが発生した時、周辺の土地並びに建物所有者及び居住者及び居住者への対応は如何か。</p> <p>6、今日の建設業界の杭抜き工事は、新たな建設計画に合わせて、工事を行うと伺っています。これはが依存する杭の設置状況が明確であれば、地中埋設物は産業廃棄物ではなく、地下資源として活用できます。</p> <p>7、上記のように多くの検討課題があります、全てに対応し解決の上工事を実施すべきです。</p>	<p>市長</p>
<p>通告第19号 16番 伊藤 正勝</p>	<p>「変化」のとき。 どう向き合うのか</p> <p>1. 新庁舎</p> <p>2. 学校給食センターの活用</p>	<p>世界も日本も地域も激変の時代。どう向き合うのか。着眼点は、「全体最適」についての考え、それをどう実現するのか。出来るのか。優先する課題の一方で後回しや間引きも必要。硬直した姿勢、取り組みでは前進はむずかしいのでは。</p> <p>①移転1ヶ月の所感。なにが変わったか。何を变えるのか。</p> <p>②「市民に開く」これについての基本的考えと取り組み。会議室等の市民利用の基準。おあしす等との連携の進め方は。</p> <p>①開設2年。総括的評価は。</p> <p>②残さい率の実状。各学校ごと食材ごとの違いも。もっと減らせないか。</p> <p>③新庁舎での職員への提供、はとふる・ぽっとでも市民の試食(モニター)に期間限定でトライしてみてもは。保護者や市民の関心を高め災害時にも役立つ実践として前向きにご検討を。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p> <p>市長 教育長 担当部長</p> <p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第19号 16番 伊藤 正勝	3. 美南小に街区公園の利用を。年限を定めての提供も。	①美南小は想定より児童数増に。1500人を超えるとの見方もあるが。現時点でピーク時の想定数の見通し。混乱は生じないか。栄小学校の実状・事例も参考にご答弁下さい。 ②学校敷地に街区公園が隣接。地元住民の了解の上期間限定で学校用地に提供し、活用しては如何ですか。 ③美南公民館などは新中学校に一時移設することを検討できませんか。多角的に検証し再提案しては如何か。	市長 教育長 担当部長
	4. 江戸川改修。もっと注目し活用を	6月3日。柴又～五霞町100キロマラソンの実施。6回目で4000人余の参加と聞く。 ①実施状況。吉川市への情報提供などは。どう受けているか。 ②吉川関係エリアの改修状況と変化は。ゴルフ場。堤防。河川敷活用一緊急道路 運動公園などについて。 ③松伏よりのゴルフ場は県管理の野球場に。実状は。吉川市の関わり、取り組みは。吉川市専用の野球場設置はムリなのか。 ④ミニスーパー堤防エリアについて。進捗状況と活用など。野球場設置の可能性は如何か。 ⑤堤防に「市民の森」を。堤防の拡幅に伴い植樹が可能になった。県民の森、TOTOの森も相当に成長。景観に彩りを添えている。 市民の声を聞き、地域の輪を広げつなげていく。「故郷づくり」の協働の施策を展開しては。再度の提案です。	市長 教育長 担当部長
	5. 中川改修と吉川橋進捗	①中川改修計画。吉川橋の架橋、道路拡幅、整備の進捗について。2020年のオリンピック前には開通との見通しが示されていたが、変わりはないか。見通しを。 ②この河川敷。市街地に近く、越谷とも隣接。野球場の設置は可能か。越谷と早めに協議が必要と思うが如何か。「川まつり」なども共催で盛り上げを検討しては如何ですか。 ③街路樹の選定を早期に専門家も交えて市民参画で進めるべきかと考えます。東京駅周辺も緑でおしゃれに変身。吉川の幹線道路であり越谷側の整備にも目配りをしながら。	市長 教育長 担当部長
	6. 働き方改革	①働き方改革法案が成立する見通し。働き易さ、働き甲斐のある職場を目指すことに。今回は吉川市職員と教職員について ▽有休の取得や時間外労働の実状。その確認と削減の方針について具体的に伺いたい。 ▽「男女雇用の均等」への配慮の実態。出産休暇の実状と補充・補完策は。子育て支援の方策について。臨時職員の活用と臨時職員についての働き方改革の方向についても対応を伺いたい。	市長 教育長 担当部長